

取り組み紹介書

施設 浜松市リハビリテーション 病院	職場 <u>リハビリテーション部</u> 氏名 <u>上杉 治</u> (団体の場合は団体名 <u>高次脳機能センター</u>)
--------------------------	--

<p>【タイトル】 当院における自動車運転再開支援の取り組み</p>
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳損傷後の自動車運転再開の医学的評価をする機関が地域にない。 ・認知機能の低下している高齢者の自動車運転の医学的評価をする機関がない。
<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳損傷後の自動車運転再開評価の仕組みを構築し、その質を向上させる。 ・患者さんが住み慣れた地域で、便利で豊かな生活を送れるだけでなく、安全な交通社会に参画できる
<p>【方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2008年より当院では神経心理学検査（脳機能検査）、教習所と連携を図り、実車評価を開始した。 ・2015年、ドライビングシミュレータを導入し、検査のみでなく、院内で模擬的に運転操作状況を評価する機会を設けた。 ・2016年、高次脳機能センター設立。医師、看護師、相談員、療法士といった多職種のチームにより、自動車運転に関する勉強会・カンファレンスを開始した。 ・2017年、有効視野検査（VFIT）導入し脳機能のみでなく、視野関連の評価を開始。実車判断の予測精度が80%といわれる机上検査（SDSA）を導入した。 ・2018年、運転再開となった患者さんの追跡調査を開始。運転再開状況や目的、事故の有無、ヒヤリ・ハットを継続的に調査している。 ・2019年、通所リハビリテーションにて自動車運転評価を開始した。 ・2020年、現在教習所のみでなく、訪問型の教習指導員とも連携を図り、多様なニーズに対応している。
<p>【結果・効果】</p> <p>自動車運転評価件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2012年は55件、2019年時点では175件へと3倍強へ評価者が増加した。 ・2012年～2019年の間に延評価件数は1108件となった。 ・通所リハビリでの評価件数は30件（2021年時点）。 ・地域の急性期病院、市外の急性期病院、地域脳神経外科クリニック、ケアマネージャからの紹介は年々増えている。

【事業団内外の表彰実績（表彰されている場合）】

- ・令和 2 年度浜松市医療奨励賞を受賞した。

※人命救助などの場合は添付の必要はありません。